

[専門教育科目/看護の展開/精神看護学]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神看護学概論	NSP21_003	必修	1	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
石野 徳子	415	t.ishino	火・木曜日 16:00~17:30		
授業の目的・概要	<p>平成 26 年度より、精神疾患は「5 大疾患」の 1 位を占めるに至り、精神看護の対象者は増加している。本概論では、精神看護の対象を理解し、それに対する対応を理解することや、わが国における精神医療の歴史、精神看護に関わる法律の変遷と倫理などについて理解することを目的とする。授業の概要として、精神看護の定義、人生各期における発達理論や危機、精神医療の歴史の変遷などについて講義する。また、現在社会における精神保健上の諸問題について、同時双方向型授業による遠隔授業を通じ実施する。</p>				
学習上の助言	各自が受講した内容を振り返り、理解を深めると共に、不十分な点については、その都度、質問すること。また、各自が与えられた課題について、教科書、参考文献などを活用し組むことが望ましい。				
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 / 著:武井麻子 / 医学書院 / 2020 第 5 版 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 / 著:武井麻子 / 医学書院 / 2020 第 5 版 [2 冊指定]				
参考書	ナーシング・グラフィカ 精神看護学①情緒発達と看護の基本/ 出口禎子編集 / メディカ出版 / 2017				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	精神看護の対象について説明できる。		NS(5)		
②	人生各期における発達段階、危機について説明できる。		NS(1)(4)		
③	生活の場における精神保健上の問題の背景、要因などについて考えをまとめることができる。		NS(1)(4)		
④	精神医療の歴史の変遷を踏まえ、我が国の精神障害者の処遇について説明できる。		NS(1)		
⑤	精神保健福祉法など精神看護の基本となる法律について説明できる。		NS(1)(5)		
⑥	生活を支えるための法律と制度について説明できる。		NS(1)(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	ガイダンス、精神看護の対象、精神看護学の基本的な考え方、日本の精神科医療の現状等について学習する。講義時間内に意見交換を行う。	同時双方向型授業	事前に講義資料を配布し予習を促す。授業中に、精神看護の対象、他国と比較した日本の精神医療の特徴等について意見交換をする。	4	
2	エリクソンの漸成的発達理論について学習をする。課題レポートについて、講義時間内にフィードバックする。	同時双方向型授業	事前に講義資料を配布し予習を促す。人間の発達段階の中で、関心のある発達段階について課題レポートを課す。	4	
3	フロイトの精神力動理論について学習する。発達理論の捉え方について、講義時間内に意見交換を行う。	同時双方向型授業	事前に講義資料を配布し予習を促す。発達理論の捉え方の違いについて意見交換をする。	4	
4	ストレス、精神保健上における「危機」について学習する。ストレスに対して、講義時間内に意見交換を行う。	同時双方向型授業	事前に講義資料を配布し予習を促す。学生がどんな時にストレスを感じるか考えた上で授業に参加する。	4	
5	家庭・学校・職場における精神保健上の問題について学習する。課題レポートについて、講義時間内にフィードバックする。	同時双方向型授業	家庭、学校、職場の精神保健上の問題の中から関心の高い問題についての課題レポートを課す。	4	
6	日本における精神医療の歴史の変遷、人権擁護に関する動きなどに関連する内容について学習する。課題レポートに関して、講義時間内にフィードバックする。	同時双方向型授業	事前に講義資料を配布し予習を促す。日本の精神医療の歴史の変遷の中から関心のある内容について課題レポートを課す。	4	
7	精神保健福祉法における入院形態、障害者の生活を支えるための法律と制度など、精神障害者に関連する法律などについて学習する。課題レポートについて、講義時間内にフィードバックする。	同時双方向型授業	事前に講義資料を配布し予習を促す。精神障害者を支える諸法律の中から、関心を持った法律についての課題レポートを課す。	4	
8	講義 8 回目までのまとめを行う。講義時間内に意見交換を踏まえて行う。	同時双方向型授業	7 回までの講義内容をふり振り返り、精神看護に関する学習内容を復習する。	2	
試	レポート 達成度評価、評価のポイント参照				

[専門教育科目/看護の展開/精神看護学]

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計	
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他		
		0	80	0	0	20	100	
総合力指標	知識・技術力	0	20	0	0	0	20	
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	0	20	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	20	0	0	0	20	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20	
問題を発見・解決する力		0	20	0	0	0	20	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①	✓	講義の際に、課題レポートのテーマについて説明する。記載内容については、テーマに添った内容が記載されているか。決められた文字数を守っているか。誤字・脱字、参考文献の使用の有無、などをふまえて評価する。なお、これらの注意点については、レポート課題に取り組みにあたり、事前に説明する。					各自から提出されたレポートの内容を確認し、気づいた注意点について、その都度、講義の際に説明する。必要に応じて、個人に指導する。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥	✓						
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	毎回の講義で質問を出し、質問への回答の提出により、学生の理解度や質問内容などを理解した上で、講義に参加しているか。また、提出日時を守っているか確認し評価の視点に加える。					各自から質問された内容について、必要に応じて講義中に全学生に伝える。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥	✓						
備 考								
教員の実務経験:看護師・看護管理者として 30 年間の臨床経験、教員として大学教育に 16 年間、従事していた経験を有する。実践的授業の内容:これまでに培った臨床経験を講義の場で活かすように、事例を取り入れることや病院や大学教育で経験したことなどを伝え、学生がよりリアリティを感じ理解を深められるように工夫をしながら講義を行う。								
・ Teams を使用した遠隔授業を行います。授業時は通信容量の安定した wifi 環境を推奨します。								
・ 大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業に参加を認めません。								
・ 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある。								